

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372500856
事業所名	グループホーム 輪楽笑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナウイルス感染症の5類移行後、できる事から少しずつお付き合いを再開している。8月には戸外でホーム主催の花火大会を催し、近所の子供たちと交流が出来ている。散歩時のご挨拶や立ち話など、変わらぬお付き合いの継続もある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	コロナ禍では、書面開催に踏み切る事も多くなっていたが、令和5年4月開催から対面での会議に切り替えている。5類意向とはいえ、感染のリスクを考え、現在はなるべく短時間で話し合いが出来るように工夫している。出席者との意見交換や助言を頂ける場として活用している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市の担当部署とは、ホーム運営に関わる報告や相談を通じて適切に連携している。地域包括支援センターとも良好な関係性を保ち、研修会や勉強会、イベント等にお誘いがあれば参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族からの信頼は深く、良好な関係を構築している。ホーム通信や個別の連絡で、ホームからの情報提供を欠かさず、家族の安心に込めている。コロナ禍では、ホームのコロナ対応・対策に理解と協力が得られ、家族の方から面会時間を短時間にして頂けたりの配慮があった。家族はホームにとって、かけがえのない理解者であり、ありがたい存在であるという。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍で書面開催を行って来たが、令和5年4月開催より対面での会議を開催している。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○	◎							